



東濃地区の子育て・親育ち通信 家庭教育なう

No.2

2025年5月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111〈内線 208〉

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

「家庭教育なう」は、恵那県事務所の HP からご覧いただくことができます。 QR コード→



みんなで家庭教育(研修動画の一部を紹介)

○家庭教育支援を推進する「岐阜県家庭教育支援条例」は今年で11年目となります。

岐阜県家庭教育支援条例

前文

家庭は、
教育の原点
であり、
全ての教育の出発点



岐阜県家庭教育支援条例

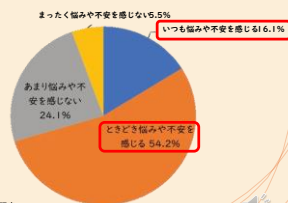


- 家庭教育の内容を例示
- 保護者、祖父母、地域住民、学校、事業者の役割を明記
- 「家庭教育を実践する日」を規定

○子育ての悩みに対応する家庭教育学級(親が子育てについて学べる場)が求められています。

現在の家庭教育を取り巻く状況

約7割の保護者が
子育てに悩みや不安を抱えています。



文部科学省 令和2年度「家庭教育支援推進のための調査研究」

家庭教育学級とは？

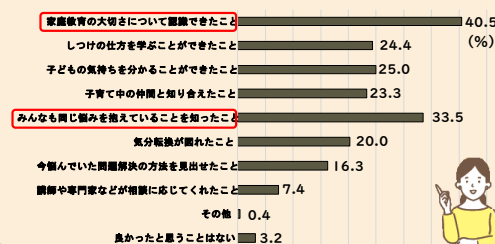
- 親としての成長を確かめる場
→保護者の学びの場
- 子育てに前向きに取り組む元気を与えあう場
→保護者どうしの交流の場
- 親や子どもの居場所づくりにつながる場
→親子の交流の場

すべての子どもたちの健やかな成長のために

○家庭教育学級を運営、推進する保護者のリーダーの方に感謝の声を届けたい。

家庭教育に関する講座・研修会などに 参加して良かったこと

(複数回答として集計)



令和2年度「家庭教育の総合的推進に関する調査研究」～家庭教育支援の充実に向けた保護者の意識に関する実態把握調査～

家庭教育学級リーダーをやってみて..



最初は、やりたくなかったのですが...

- ・ やってよかった！親さんの友達ができました！
- ・ 参加者に喜んでもらい、誰かの役に立つやりがいを感じました！
- ・ 他の保護者さんの話が参考になり、親として学ぶことができました！
- ・ わが子だけでなく、他のお子さんのよさもあり、大切に感じました。
- ・ おやじ達も家庭教育を頑張りたいと思いました！

土岐市肥田子育て支援センター 親子でエアロを楽しもう!

日時 令和7年3月17日(月) 10:30~11:30

講師 清水 美由紀 さん(エアロビクスチーム FLAT BACK 所属)

参加者 7カ月~未就園児の親子(乳幼児13名、親11名)



楽しく体を動かし

心身ともにリフレッシュ

土岐市肥田子育て支援センターは、児童館・児童センターとともに開設され、地域の児童健全育成の場を提供しています。

今回は、「親子でエアロを楽しもう!」としてエアロビクス講師の清水美由紀先生をお招きし、就学前のお子さんとその保護者にエアロビクスを体験していただきました。



☆ 活動の内容とその様子 ☆

1 ストレッチ(音楽に合わせて)



2 基本の動き(リズムカルに)

3 曲に合わせて、楽しくエアロビクス



4 癒しのストレッチタイム



【ここを学びたい】

・エアロビクスダンスで表現力を養う

エアロビクスはダンス形式で行う有酸素運動です。リズムに合わせて体を動かすことで、自分の気持ちや感情を体で表現する力を養います。これは、言葉がまだ十分に発達していない乳幼児にとって特に重要です。大人にとっても、血液の循環がよくなる・老廃物を排出しやすくなる・肩こりや腰痛が改善される・睡眠の質が高まるなど、健康にも嬉しい効果が期待できます。

清水先生はエアロビクスの全国大会にも出場された実績のある方で、さすがの体の動かし方でした。エアロビクスの基本の動きとともに、運動の意図なども教えていただきました。



短い時間の活動なのに、動きを組み合わせ、♪一曲♪踊れるようにしていただくなど、体を動かす楽しさを味わわせてくださいました。

【職員の神谷さんにお話を伺いました】

○主催者として願っていることは・・・

「日頃、子育てでなかなか自分の時間がとれない親のリフレッシュになればと考えました。また、親同士の交流の場としてもこの機会を大切にしていだければと思っています。」

○本日の参加者の様子はいかがでしたか・・・

「今日は、親子ともしっかりと体を動かすことができていました。時々、お子さんがなかなか運動になじめなくて、違うところへ行ってしまうこともあるのですが、今日はみなさんが活動できていて、いいなと思いました。」

○日頃から考えてみえることがありましたら・・・

「平成28年度より、子育て支援センターで、こうした親子のふれ合いづくりを進める活動が始まっています。これからもより多くの方に参加、利用していただき、子育てを楽しんでいただければと思います。」

【参加された方の感想を紹介します】

「日頃、二人の子の子育てをしているとなかなか自分の時間がとれなくて、体を動かせる機会もないので、自分の運動、リフレッシュもかねて参加しました。」

(1歳、3歳姉妹のお母さん)

「しっかりと体を動かすことができ、とてもスッキリしました。妻が出産したばかりで、下の子の面倒を見ているので、今回は私が子どもと一緒に参加しました。」

(唯一参加のお父さん)

「どの親子もすごく楽しそうで、笑顔いっぱいの時間でした。見ていて、とても微笑ましく、癒されました。」(専門職)



中津川市学力アッププログラム

優れた「早寝早起き朝ごはん」運動 文部科学大臣表彰を受賞

訪問日 令和7年4月18日(金) 13:00~14:30

お話を伺いました 岩久 義和 教育長 西尾 大輔 研修所長



小学6年生 (2024年度)
朝食を毎日食べている
中津川市 91.9%
国 83.4%

子どもの生活習慣を数値で可視化

家庭と連携して子どもの健やかな成長を支えている点が評価される

中津川市教育委員会では、平成23年度から「市学力アッププログラム」の取組を開始しました。

きっかけは中津川市立南小学校における望ましい生活習慣を子どもたちが身に付ける取組です。学校と家庭が連携して行ったこの取組は、子どもの睡眠、朝食の摂取において、望ましい効果がみられ大切な取組であることが、中津川市の小学校校長会で確認されました。その動きが、中学校、幼稚園、子ども園へと広がっていったと伺っています。そして、取組の中から明らかになってきた課題に対応し、様々な変化を経て、現在に至ります。

今回は、文部科学大臣表彰を受賞した機会に、岩久義和教育長、実際の事業推進を行っている西尾大輔教育研修所長からお話を伺うことができました。



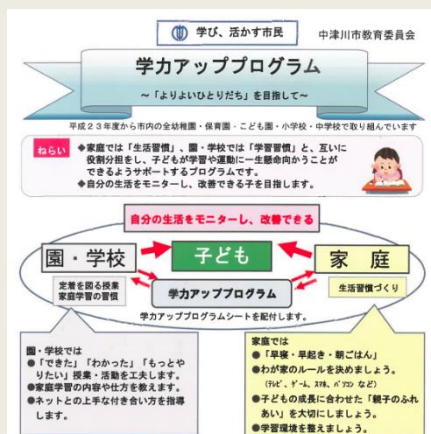
取材風景 岩久教育長と西尾研修所長

☆学力アッププログラムとは☆

このプログラムでは、子どもたちに「自分の学習、生活習慣をモニターし、改善できる力を育成する」ことを目指します。幼児期から小中学校の時期まで、発達段階を踏まえて大切にしたい生活習慣、学習習慣づくりを明確にし、家庭と連携して取り組みます。子ども、家庭とは、教育委員会自作のシートを活用し、目標・成果を共有しています。

【大切にしたい生活習慣】

画面視聴時間 < 学習時間
早寝・早起き 朝ごはん 朝うんち



家庭と連携して子どもたちの「よりよいひとりだち」を支えます。

○今回、受賞された感想は・・・

長いこと地道に取り組んできたことを評価してもらえて、ありがたいです。この取組は、保護者の協力なしには、なしえないものです。協力していただき、たいへん感謝しています。特に、幼児期の生活習慣づくりについては、公立、私立、法人すべての園で協力、推進してもらっていることも大きな成果につながっていると思っています。

○学力アッププログラムについての思いは・・・

児童、生徒が学校で学んだことをいかに定着させていくか、を考えたときに家庭での基本的な生活習慣づくりの支えは必須です。現在、学校では「主体的・対話的で深い学び」を目指して教職員と児童生徒が懸命に取り組んでいます。その活動を支えていただいているのが家庭です。家庭が子どもにとって安心できる場所、望ましい生活習慣を培う場所であることが重要です。その願いのもと、この「学力アッププログラム」の取組を継続してきました。

○学校と家庭の連携、これからの家庭教育支援について・・・

長年の取組でもあります。マンネリ化しないように、「初志」を忘れないことが大切です。累積した取組データを活かして、「今、子どもにとって必要なこと、大切なことは何か」を学校と家庭が明確にして取り組むことがより大事になってきます。中津川市内の各学校では、地域の特色も違います。それを踏まえて各校の学校経営とリンクして、より効果的になるようこのプランを推進していく予定です。

○家庭教育にかける願いは・・・

保護者にとって、自分一人ではできないことも園、学校でみんなで行うことで励まされてきたこともあると思います。

これまでも、人任せの子育てでない「親による子育て」で進んできた中津川市です。これからも、親が「子育てに向き合う」ことを大切にしていってほしいです。「親も学ぶ」、家庭教育が中津川市の教育を根底から支えています。

